

科目名称	観光事業論				ビジネス・キャリア ()	オフィス情報 ()
英文科目名称	Tourism on business				グローバル・コミュニケーション ()	医療事務・医療秘書 ()
科目コード	534020	授業形態	講義	単位数	2	
教員氏名	林 欣也		年次配当	2年次	後期	ホテル・観光 (必) 大学編入 ()
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> 有・無	
授業概要 及び授業方法	この授業はフィールド科目として、学生が主体的に観光客誘致のための地方創生施策を調査研究し、宮崎県の魅力を探索及び観光客誘致に貢献できることを目的とした観光プロジェクト授業である。また、観光の時事問題にも触れ、今後の宮崎の観光事業の取り組みについても考察することを目的とする。例えば、宮崎観光の最大の課題は公共交通機関を利用したアクセスの問題があげられる。そこで各グループに分かれて公共交通機関(路線バス)を利用したモデル観光ガイド(パンフレット)を計画作成しその案に基づき実際に体感する。その後、反省点を検討し最終的に観光コース毎のパンフレット及び冊子(レジュメ)を作成。さらにその結果を発表する授業である。					
関連する科目	観光ビジネス実務総論				卒業認定(学習成果)との関連	①②⑤⑥
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 宮崎県の観光資源を知るⅠ：人口・面積・観光地・自然・宮崎県出身の偉人・郷土料理・方言 等 3. 宮崎県の観光資源を知るⅡ：神話・文化 等 4. 課題研究Ⅰ：テーマ・情報収集・アイデア出し・計画 5. 課題研究Ⅱ：体感学習に向けた旅行プラン制作 6. 課題研究Ⅲ：体感学習 7. 課題研究Ⅳ：体感学習に基づきレジュメ作成 8. 課題研究Ⅴ：体感学習に観光ガイドパンフレット、レジュメ作成 9. わが国の観光の変遷と現状(旅・観光の歴史・日本の歴史等) 10. 宮崎県の観光とイメージの変遷 11. 宮崎県の地方創生と観光事業 12. 今後の地方の姿を考える 13. 課題研究Ⅵ：課題資料提出(レジュメ&冊子&プレゼン)および推敲 14. 課題研究Ⅶ：事前発表会 15. 課題研究Ⅷ：研究成果発表 					
授業時間外の学習	・単元ごと終了時に確認小テストを実施します。返却後、解答解説を行いますので、復習をして次回の授業を受講してください(30分程度)。					
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の観光の進展を時代に沿って論述できる。 ・宮崎の概要、神話、歴史、自然、観光、施設、祭、行事、生活文化、産業を知り地域貢献への意欲を高め観光客誘致への視点を養う。 ・訪日観光客の需要増に向けての促進策を提案できる。 					
課題に対するフィードバック	小テストの採点結果等の解答解説については返却後の授業にて行います。	評価方法・基準		<ul style="list-style-type: none"> ・確認小テスト 70点 ・プレゼンテーション 30点 		
テキスト	適宜、プリント教材等を配布します。					
参考書	みやざき観光・文化検定 公式テキスト 宮日文化情報センター(編集・発行)					
備考	・授業の中で随時、学生に質問する対話型の授業を行う。					